

## 地域スポーツ指導者における キャリア・パターンの分析

○岳藤 史泰（鹿屋体育大学大学院）

山口 泰雄（鹿屋体育大学）

末井 健作（姫路工業大学）

地域スポーツ指導者、キャリア・パターン、指導担当レベル、競技成績

### 1. はじめに

「SPORT FOR ALL」の時代を迎えて、今日、日本の社会体育の振興も、かつてない高まりを見せている。スポーツ施設数やスポーツ指導者数の量的側面からみても、年々増加傾向を示している。しかし、量的側面からだけでは、社会体育が十分に振興しているとはいえない。スポーツの一層の振興を図るためには、まず優れたスポーツ指導者、特に住民の身近にあって指導に携わる指導者が、ますます重要になってきており、スポーツ指導者は、人々のニーズに答えるために質的向上が求められている。

しかしながら、スポーツ指導者の養成は、これまで継続的な講習機会や専門的知識や技術の再学習という点に関して十分とはいえない。今後、指導者資質の向上により、社会的地位や待遇、身分保障などの問題に関して、改善される余地を残しているのである。

キャリア・パターンとは、個人が一生の間にたどる職業上の経歴を意味するが、スポーツ指導者の現在に至るまでのプロセスから、職業やスポーツキャリアの現状を把握し、その特徴を導くことは、現指導者の社会的背景を知る上で重要である。過去に海老原ら(1986)は、キャリア・パターンの特徴を、一流競技選手を対象として行っているが、地域レベルにおけるスポーツ指導者を対象としたキャリア・パターンの研究は、数少ないのが現状である。本研究の目的は、スポーツ指導者のキャリア・パターンのメカニズムを職業経歴とスポーツキャリアから明らかにすることである。

### 2. 研究の方法

調査対象：兵庫県スポーツ指導者協議会に登録している会員 500名

（同会員は、日本体育協会公認のトレーナー、コーチ、スポーツ指導員の資格を有する）

調査時期：1988年9月1日～10月31日

調査方法：質問紙による郵送法

サンプル数：有効回収数 328、回収率65.6%

### 3. 結果・考察

現在の職業と指導レベルのプロセスを示すモデルを設定し、それぞれを相関分析により検証した。現在の職業については、 $\chi^2$ 検定後、 $\chi^2$ 値からのクラマー係数の算出、また指導レベルについては、ピアソンの積率相関係数により分析を行った。

指導レベルについては、学生時代の競技レベル（以下、競技レベル）が高いほど、最初に指導する対象者のレベル（以下、最初の指導担当レベル）も高く、最高の指導対象者レベル（以下、最高指導担当レベル）も高いということが示された。また最初の指導担当レベルが高いほど、最高指導担当レベルも高いことが示された。これは、トレーナー、コー

チ、スポーツ指導員とも同じ様な傾向を示しており、特に、最初の指導担当レベルと最高指導担当レベルの間では、強い関連性が示されている。つまり、最初の指導場面よりも、練習鍛錬において、少しでも競技レベルを上げるために行われるため、レベルアップするのは必然的なものであるということが言える。

現在の職業に関しては、全体として最終学歴は父親の職業に強く規定されており、現在の職業はその最終学歴と競技レベルに影響されていることが示された。やはり、現代社会の特性を反映し、学歴偏重社会とも言われるように、高学歴の者が高い職業的地位についていることを示唆していると思われる。資格別に見ると、トレーナーは、最終学歴や競技レベルが高いほど現在の職業的地位も高くなることが示された。すなわち、競技力の高い成績を納めた者が、やはり実力を考慮して、指導対象者も高いレベルの者を指導することになっていると推察される。コーチについては、最終学歴が高いほど現在の職業的地位も高いことが示された。スポーツ指導員については、父親の職業的地位が高いほど最終学歴も高く、最終学歴が高いほど、現在の職業的地位も高いことが示された。つまり、スポーツ指導員は、地域レベルで比較的競技レベルが低いのに対して、トレーナーやコーチは競技レベルも高く、そのため推薦等で大学進学も十分に可能であると考えられる。

#### 4. まとめ

以上、スポーツ指導者を資格別に分け、現状分析によるパターンを提示してきたが、本研究においては、キャリア・パターンのメカニズムを明らかにする点において、競技レベル 最初の指導担当レベル 最高指導担当レベルの一連のパターンを見いだすことができた。また、トレーナーは最終学歴と競技レベルが現在の職業に、コーチは最終学歴が現在の職業に、スポーツ指導員は父親の職業が最終学歴に、最終学歴が現在の職業にそれぞれ影響を及ぼしており、ここからも一連のパターンの特徴が明らかにされたといえる。

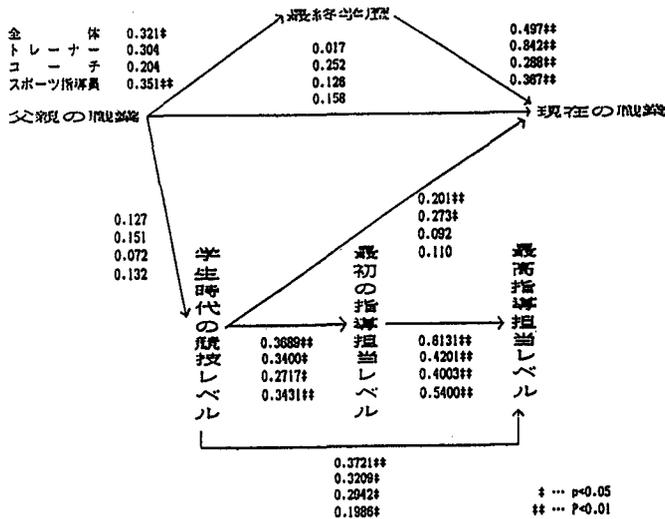


図1 現職業と指導レベルのプロセスを示すモデル